

環境賞 (Iグループ)	橋脚基礎杭の施工における分級システムの活用 ～大量建設汚泥の減量化と再資源化による環境保全～	14
	国土交通省 北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所	
環境賞 (Iグループ)	地球温暖化・海面上昇の影響評価と対策に関する一連の研究と国際協働	15
	三村 信男 (茨城大学)	
環境賞 (Iグループ)	CUTE (International Comparative Study on Urban Transport and the Environment) プロジェクト	16
	中村 英夫、林 良嗣、宮本 和明、小林 良邦、加藤 博和、花岡 伸也、有村 幹治、紀伊 雅敦、岡田 啓	
環境賞 (IIグループ)	平良港「トゥリバー地区の自然海岸の保全・活用とサンゴ移植による環境創造」 －阪神電鉄本線春日野道駅改造工事－	17
	内閣府 沖縄総合事務局 平良港湾事務所 宮古島市 建設部 港湾課	
環境賞 (IIグループ)	稀少種であるエゾホトケドジョウに配慮した河川改修	18
	北海道 札幌土木現業所	
環境賞 (IIグループ)	環境に配慮した新しいシールド工事の取り組み －石岡トンネル(第2工区)新設工事－	19
	国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦導水工事事務所	
田中賞 (作品部門)	女神大橋	20
	国土交通省、長崎県、長崎県道路公社	
田中賞 (作品部門)	下植野高架橋の横梁移植	21
	西日本高速道路(株) 関西支社	
田中賞 (作品部門)	七色高架橋	22
	奈良県	
田中賞 (作品部門)	新北九州空港連絡橋	23
	福岡県、北九州市	
田中賞 (作品部門)	紀勢宮川橋	24
	中日本高速道路(株)	
田中賞 (作品部門)	桂島高架橋	25
	中日本高速道路(株) 横浜支社	

付録.平成17年度土木学会賞受賞者一覧



(業績名)  
**利便性および安全性の抜本的な改善を図った既設地下駅  
の大規模改造**  
－阪神電鉄本線春日野道駅改造工事－

**Large-Scale Renovation of an Underground Station for  
Drastic Improvements of Convenience and Safety**  
- Renovation Works of Kasuganomichi Station on the Hanshin Railway Line

阪神電気鉄道(株) 鹿島建設(株) 中央復建コンサルタンツ(株)  
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO., LTD.; KAJIMA CORP.; CHUO FUKKEN CONSULTANTS CO., LTD.

**授賞理由**

阪神電鉄本線春日野道駅は、神戸市の中心部にほど近い位置にあり、昭和9年より地下駅として営業してきたが、ホーム幅員がわずか2.6mと狭小であり、また、バリアフリー化や火災対策設備が未整備であったため、今般、利便性と安全性の抜本的な改善を図るために大規模な改造工事が行われた。

本工事の技術的特徴は、①列車の安全運行と駅営業という鉄道の機能を維持しつつ、営業線との超近接施工を克服することができる設計・施工が求められ、これらに対処するため新技術等を用いた結果、安全施工とコスト縮減を達成したこと、②構築後70年を経た地下駅を、防災や安全・安心という新時代の都市土木に求められる機能を完備した駅に再生させたこと、の2点に集約される。

設計・施工上の個別技術では、①既設部材を積極的に利用した設計法を採用したこと、②新旧部材接合部の品質向上のため、既設鉄

筋のはつり出しに初めてコリジョンジェット工法を採用したこと、③既設側壁の撤去工事は狭隘空間での超近接施工となったが、防護パネルを設置することにより昼間に列車を走らせながら施工したこと、などが特筆される。

鉄道の機能を維持しながらの超近接施工を、新技術を合理的に組合せ、安全かつ低コストで成し遂げた本業績は、今後の都市内における類似工事において大いに参考になる先駆的事例として高く評価され、技術賞に値するものとして認められた。

技術賞  
Outstanding Civil Engineering  
Achievement Award

Iグループ  
(具体的なプロジェクトに関連して、土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められる計画、設計、施工または維持管理等の画期的な個別技術(情報技術、マネージメント技術を含む))